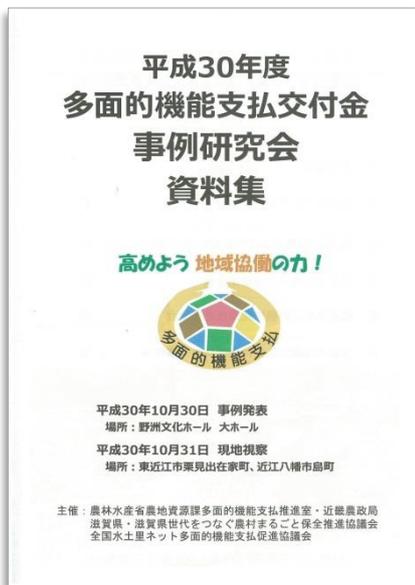


農地・水・環境保全だより第36号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

平成30年度多面的機能支払交付金事例研究会」が開催されました



平成30年10月30日（火）、31日（水）、滋賀県東近江市において、農林水産省、近畿農政局、滋賀県、滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会及び全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会の共催により「平成30年度多面的機能支払交付金事例研究会」が開催されました。

全国の活動組織を中心に関係行政機関など、2日間でのべ約850名が参加し盛大に行われました。

初日は、「生態系の保全」「多様な団体の参画による活動継続の工夫」「事務負担軽減に向けたシステム化の推進」について事例発表が行われました。

意見交換会の様子



三重県からは、清し有田佐田沖環境保全会が、専門技術を持つ共同活動サポート隊による直営施工、多様な人材の確保へ繋げる組織運営、学校や福祉施設等と連携した活動について発表し、参加者との間で活発な意見交換が行われました。

2日目は、滋賀県の東近江市、近江八幡市において現地視察が行われました。参加者は水田魚道などの生態系保全活動や、水路の規模に応じて設置している2種類の魚道の特徴などの説明に聞き入っていました。

多面的機能支払活動組織の先進的な活動事例を共有することにより、各活動の更なる充実や活動組織間等のネットワーク形成を図ったり、農業・農村の多面的機能の発揮の促進のため、とても有意義な大会となりました。

農林水産省農村振興局
長山多面的機能支払推進
室長の基調講演



会場の様子



三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

「多面的機能の維持・発揮活動 第11回みえのつどい」が 開催されました

『地域資源の付加価値を高める地域づくり、農村地域の恵みを次世代に』

平成30年12月15日（土）三重県総合文化センターにおいて、県内の活動組織や県内外の関係者約1,200名が一堂に会して、「地域資源の付加価値を高める地域づくり、農村地域の恵みを次世代に」をテーマに、第11回みえのつどいが三重県、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の主催で開催されました。

今回も、「獣害につよい三重づくりフォーラム」との同日開催となり、多くの活動組織の方々にご参加いただき、会場の都合により、11回のつどいの中で初めて全体会が総合文化センター内の中ホールと多目的ホール・小ホールへのライブ中継となりました。

まず、全体会を中ホール（多目的ホール・小ホール同時中継）で、その後同センター内で5つのテーマに分けた分科会を開催しました。

全体会では、まず主催者を代表して渡邊三重県副知事より挨拶があり、引き続き来賓の挨拶、紹介がありました。その後、本年度に受賞された優秀活動組織の概要がスクリーンで紹介され、表彰式に移り、優秀活動に選ばれた5組織の代表に賞状と記念品が授与された後、優秀活動組織の代表者と主催者代表、来賓を囲み記念写真の撮影を行いました。



渡邊三重県副知事 挨拶

さらに「みえの農村・守ってます、私たちの地域！！」をテーマとしたフォトコンテストでは、2部門で最優秀賞1作品、優秀賞1作品が発表され、賞状と副賞が事務局より授与されることが報告されました。

－優秀活動組織－

部門	活動組織名	市町名
施設部門	柏町みのり会	伊勢市
農村環境部門	牧・集落営農部会、地域資源保全会	多気町
コミュニティ部門	清し有田佐田沖環境保全会	玉城町
パブリシティ部門	大野木環境保全会	伊賀市
地域共同活動部門	新茶屋すみよい環境を守る会	明和町

－フォトコンテスト入賞作品－

部門名	作品名	活動組織名	市町名
維持保全活動部門	最優秀賞	美しくなる地域	高山げんき村づくり協議会 伊賀市
	優秀賞	排水溝畔のゴミ取除き作戦	大野木環境保全会 伊賀市
農村環境活部門	最優秀賞	ありんこ軍団、がんばるぞ！	智積農地水環境を守る会 四日市市
	優秀賞	小さな担い手さん	藤之木地区農地・水・環境保全会 松阪市



優秀活動に選ばれた5組織のみなさんと渡邊三重県副知事、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会岡村会長、前田三重県議会議長との記念撮影

引き続き、基調講演に移り、「地元の資源を活用した地域づくり」と題して、千道株式会社 NPO 法人 吉備野工房ちみち 加藤 せい子氏よりご講演していただき、全体会は終了しました。

その後休憩を挟み、参加者はおのおの希望したテーマの分科会の研修を受けました。

第1分科会では、「多面的機能支払の取組事例報告」をテーマに、県内2組織（清し有田佐田沖環境保全会、美濃田環境保全会）から、事業を期に地域活性化に取り組んでいる様子や農村環境活動において特徴的な活動の様子を報告いただき、参加する活動組織の質の向上を図りました。



多目的ホールの全体会の様子



中ホールの全体会の様子



第1分科会の様子



第2分科会の様子

第2分科会では、「より良い地域づくりに向けて」～次世代リーダーへの継承・活動の自立に向けた体制づくり～をテーマに、高齢化や過疎化により共同活動への参加者が減少してきているほか、役員のなり手不足等により活動の継続を不安視する組織も現れていることから、多面的機能支払活動の持続と地域の協働力の強化を図っていくために、将来の活動を担うリーダー、人材の育成に焦点をあて、ワークショップでは各活動組織の工夫に関する情報交換を行うことを通じ、自らの地域の活動を見つめ直し今後の活動継続の参考としてもらうことを目的に実施しました。

第3分科会では、「地域の魅力発見&マップづくり研修会」をテーマに、中山間地域の過疎化が進む要因の一つとして、住民自身（特に親世代）における地域に対しての愛着感、誇りが薄くなり、次の世代が出て行ってしまっていることがあり、逆に活性化が成功している地域では、住民自身が地域の素晴らしさを再確認しており、地域への愛着感、誇りが子ども世代にも共有されていることから、こうした地域資源をもう一度見直し、住民自身が地域の素晴らしさを再確認し、地域への愛着感、誇りを取り戻す「きっかけ」を目的に研修会を実施しました。



第3分科会の様子



第4分科会の様子

第5分科会の様子

第5分科会では、「実践活動（安全対策・畦畔保全・補修メンテナンスの説明等）」をテーマに、東海農政局担当者からは「多面的機能支払の留意点と安全対策」と題しての報告を、全共連の担当者からは「活動にかかるイベント共済の内容及び契約手続きについて」の案内を、企業からは活動に必要な製品等の紹介があり、説明終了後の意見交換では、参加者は興味あるブースに自由に移動し、担当者からおのおの疑問点等の説明を受け盛会のうち、分科会も終了し参加者は帰路に着きました。



また、会館内では活動組織紹介、フォトコンテスト応募作品の展示、三重県PRブース等が設けられ、参加者は時間の合間を見計らって見入っていました。

また、レセプションルームでは「旬の食材」「地元産」「ジビエ料理」などの弁当販売もあり、おのおのどこか懐かしい農村の味を楽しんでいただきました。



中ホールエントランスの様子